

しょう4 こくご「慣用句・ことわざ」 その2

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 「とても おどろく」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 手も 足も 出ない イ ちりも 積もれば 山となる ウ 目を 丸く する

エ 好きこそものの 上手なれ こたえ _____

2 「花より 団子」の 意味は？

ア 知り合いが 多い イ もめごとの あと、かえって よい 状態になること

ウ 見た目より 役に立つものを えらぶ エ しんぼう 強く 続ければ 成功する こたえ _____

3 「百 聞は一見に しかず」の 意味は？

ア 自分の 力では どうすることも できない イ 小さな ことも 積み重なれば 大きくなる

ウ 何度 聞くより 一度 見る方が よくわかる エ とても おどろく こたえ _____

4 「手ごたえが なく ききめが ない」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア ぬかに くぎ イ 水を得た 魚 ウ ーを 聞いて 十を知る エ 帯に 短し たすきに 長し

こたえ _____

5 「ぬかに くぎ」の 意味は？

ア 気が 合う イ 手ごたえが なく ききめが ない ウ 自分に 都合よく 数を ごまかす

エ 知り合いが 多い こたえ _____

6 「自分の した ことが もとで 自分が 苦しむこと」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 七 転び 八 起き イ 所 変われば 品 変わる ウ 案 ずるより 産 むが やすし エ 身 から 出 た さび

こたえ _____

7 「住めば 都」の 意味は？

ア とても おどろく イ 失敗 しないように 前もって 用意 する

ウ どんな 所でも 住みなれば いご ちよく 感じる こと エ 手ごたえが なく ききめが ない

こたえ _____

8 「出歩^{である}けば 思い^{おも}がけないことに 出^{であ}会^いう」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用^{かんよう}句^くは？

ア 三日^{みっか}ぼうず イ 灯台^{とうだい}もと暗^{くら}し ウ 犬^{いぬ}も歩^{ある}けば棒^{ぼう}に当^あたる エ 石橋^{いしばし}をたたいて渡^{わた}る
こたえ _____

9 「強^{つよ}い者^{もの}の 力^{ちから}を たよりに いば^いるこ^{いみ}と」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用^{かんよう}句^くは？

ア 虎^{とら}の威^いを借^かるきつね イ ねこに小判^{こばん} ウ 所^{ところ}変^{かは}われば品^{しな}変^{かは}わる エ 案^{あん}ずるより産^うむがやすし
こたえ _____

10 「知^しらぬ^{ぼとけ}が仏^{いみ}」の 意味^{いみ}は？

ア 知^しらなければ心^{こころ}を みださず い^はられるこ^いと イ 早^{はや}起^おきを す^すると よ^よいこ^ことが ある
ウ 名^{めい}人^{じん}でも し^しっばいす^することが ある
エ 聞^きくのは 少^{すこ}しの は^はずかしさ^さだが、聞^きかないと ず^ずっと 損^{そん}を す^すること こたえ _____

11 「心^{しん}配^{ぱい}するより 実^{じっ}際^{さい}に や^やつてみ^いると 案^{あん}外^{がい} かん^{かん}たん^{たん}なこ^こと」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用^{かんよう}句^くは？

ア 油^{あぶら}を 売^うる イ 石^{いし}の 上^{うへ}にも 三^{さん}年^{ねん} ウ 案^{あん}ずるより産^うむがやすし エ 二^{にかい}階^{かい}から目^め薬^{ぐすり}
こたえ _____

12 「一^{いち}を 聞^きいて 十^{じゅう}を 知^しる」の 意味^{いみ}は？

ア 心^{しん}配^{ぱい}するより 実^{じっ}際^{さい}に や^やつてみ^いると 案^{あん}外^{がい} かん^{かん}たん^{たん}なこ^こと
イ 人^{ひと}は つき^あ合^あう 相^{あい}手^てによ^よって よ^よくも わ^わるくも な^なること ウ か^かしこ^こくて のみ^{のみ}こ^こみが 早^{はや}い
エ 見^みた目^めより 役^{やく}に 立^たつもの^{もの}を え^えら^らぶ こたえ _____

13 「何^{なん}度^ど 聞^きくより 一^{いち}度^ど 見^みる方^{かた}が よ^よくわ^わかる」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用^{かんよう}句^くは？

ア 馬^{うま}が 合^あう イ 百^{ひゃく} 聞^{ぶん}は 一^{いつ}見^{けん}に しか^{しか}ず ウ 骨^{ほね}が 折^おれる エ 住^すめば 都^{みやこ}
こたえ _____

14 「棚^{たな}から ぼ^いた^いもち」の 意味^{いみ}は？

ア 何^{なん}度^ど 聞^きくより 一^{いち}度^ど 見^みる方^{かた}が よ^よくわ^わかる イ 思^{おも}い^いがけ^いない 幸^{こう}運^{うん}が ま^まいこ^こむこ^こと
ウ 弱^{じゃくてん}点^いを 言^きわれて 聞^きくのが つ^つら^らい エ 強^{つよ}い者^{もの}の 力^{ちから}を たよりに いば^いるこ^こと こたえ _____

15 「目^めを 丸^{まる}くする」の 意味^{いみ}は？

ア 悪^{わる}いこ^ことが 重^{かさ}な^おって 起^おこ^こる イ と^とて^とも お^おど^どろ^ろく ウ 自^じ分^{ぶん}に 都^{つごう}合^{ごう}よ^よく 数^{かず}を ご^ごま^まか^かす
エ 失^{しっ}敗^{ぱい}しないよ^{よう}うに 前^{まえ}も^もって 用^{よう}意^いする こたえ _____

16 「土地が ちがえば 習慣や ものも ちがうこと」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 所変われば品変わる イ 知らぬが仏 ウ 善は急げ エ 犬も歩けば棒に当たる

こたえ _____

17 「失敗しないように 前もって 用意する」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 七転び八起き イ とらぬたぬきの皮算用 ウ 油を売る エ 転ばぬ先のつえ

こたえ _____

18 「あれこれ 深く考える」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 頭をひねる イ 灯台もと暗し ウ 朱に交われば赤くなる エ 雨降って地固まる

こたえ _____

19 「思いがけない 幸運が まいこむこと」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 棚からぼたもち イ とらぬたぬきの皮算用 ウ さるも木から落ちる エ 二階から目薬

こたえ _____

20 「弱 点を 言われて 聞くのが つらい」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 耳が痛い イ 井の中の蛙 大海を知らず ウ 一を聞いて十を知る

エ 一寸の虫にも五分のたましい こたえ _____

こたえ しょう4 こくご「慣用句・ことわざ」 その2

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1 ウ 目を丸くする | 11 ウ 案ずるより産むがやすし |
| 2 ウ 見た目より役に立つものを えらぶ | 12 ウ かしこくて のみこみが 早い |
| 3 ウ 何度 聞くより 一度 見る方が よくわかる | 13 イ 百聞は一見にしかず |
| 4 ア めかに くぎ | 14 イ 思いがけない 幸運が まいこむこと |
| 5 イ 手ごたえが なく ききめが ない | 15 イ とても おどろく |
| 6 エ 身から出たさび | 16 ア 所変われば品変わる |
| 7 ウ どんな 所でも 住みなれれば いごこちよく
感じる | 17 エ 転ばぬ先のつえ |
| 8 ウ 犬も歩けば棒に当たる | 18 ア 頭をひねる |
| 9 ア 虎の威を借るきつね | 19 ア 棚からぼたもち |
| 10 ア 知らなければ 心を みださず いられること | 20 ア 耳が痛い |